

事業番号	04 06 05	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	青少年の健全育成事業			担当課	部局	県民文化部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・局・室	次世代サポート課	
	施策の総合的展開	7－2	子育て先進県の実現		E-mail	jisedai@pref.nagano.lg.jp	
		6	青少年の健全育成				
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針			実施期間	S45 ～		
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	県民総ぐるみの青少年健全育成運動の推進体制を整備し運動を展開することにより、県民の青少年健全育成の機運を高めるとともに、青少年の健全育成にとってより良い環境づくりを目指す。		
現状（予算編成時）	・小売酒販組合やたばこ販売協同組合など、青少年の健全育成のために自主規制を行っている業界、青少年関係機関・団体と連携し、青少年の健全育成に向けたより良い環境づくりのため、地域での巡回運動や啓発運動を行っている。 ・青少年育成県民会議によるあいさつ運動の推進やセイフネット講座等の実施を通じ、青少年健全育成及び非行防止のための運動の推進及び活動を行っている。		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】	
	県民との協働による実施： 実施中	県が主導的に県民会議や関係団体と協力して実施していく必要がある。	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)					
	○有害図書等の取扱店における青少年への配慮率を概ね90%以上に維持する。 ○有害図書等を販売する自動販売機を前年度より減少させる。 ○青少年育成県民会議の活動を通して、県民の青少年健全育成の機運を高め、非行少年数を現況以下にする。 ○青少年サポーターの委嘱人数 428人(H28.5月末現在)→目標1,400人【補正】 ○助成対象としている地域住民等による性教育・人権教育研修会の開催回数 目標40回→60回【補正】					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初) (決算)		H29 (当初)
	県民運動推進等パンフレット等印刷	直接	県民運動推進等パンフレット等印刷	1,008	697	1,156
	青少年育成県民会議補助事業	補助	県民運動推進事業【補正含む】	12,756	15,566	17,097
子どもを性被害から守るための取組広報事業	直接	子どもを性被害から守るための取組に係るリーフレット、ポスターの印刷【補正】	0	2,510	0	
		合計	13,764	18,773	18,253	

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況																				
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標													
		当初予算	11,765	13,764	18,253				目標	成果	達成状況														
		補正予算		9,152																					
		合計(A)	11,765	22,916	18,253																				
	Aの財源	一般財源	11,735	22,216	14,753	有害図書配慮率	99.20%	99.4%	90%以上	99.2%	達成	-													
		県債																							
		国庫支出金																							
		その他	30	700	3,500																				
	決算額(B)	10,153	18,773		有害自動販売機台数	121台	109台	現況以下	104台	達成	-														
	概算人件費	職員数(人)	1.00	1.00								1.00	非行少年数	989人	686人	現況以下	536人	達成	-						
		概算人件費(C)	8,258	8,258								8,258								あいさつ運動実施市町村数	46	34	50	44	未達成
概算事業費(B(A)+C)		18,411	27,031	26,511								青少年サポーター委嘱人数													
				性教育・人権教育研修会開催回数	-	-	40→60回 補正	46	未達成	-															

目標に対する成果の状況	・有害図書配慮率、有害自動販売機台数、非行少年数については、青少年健全育成運動の成果により目標を達成することができた。（非行少年数については、少子化や万引きの減少など他の要因の影響もあり。） ・あいさつ運動実施市町村数は昨年度実績を上回ったものの目標に達せず、青少年サポーター委嘱人数及び性教育等研修会開催回数については、事業の周知啓発等を実施したものの応募や申込みが少なく、目標を達成できなかった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	・平成28年7月から「長野県子どもを性被害から守るための条例」が施行され、子どもの健やかな成長を阻害する要因を除去し、安全で安心な社会環境の整備に向けて、引き続き県民総ぐるみの県民運動として取り組んでいくことが定められた。今後も性被害の防止や青少年の健全育成に向けて、関係機関と連携しながら、必要な取組を進めていく。 ・平成29年6月に長野県将来世代応援県民会議（「長野県青少年育成県民会議」と「ながの子ども・子育て応援県民会議」を統合）を設立し、新たに地域会議を10広域に設け、地域レベルでの青少年サポーターの人材の掘り起こしや信州あいさつ運動の展開などの取組を進める。